

第45回日本理学療法士学会 自由枠セミナーにて講演会開催！

この号の内容:

日本理学療法学会
自由枠セミナーにて講演会

1

トピックス

根拠とその問題

臨床予測基準について

2

研修会アナウンス

2

研修会

アンケート結果

4

発表者より

5

書籍紹介/入会案内

6

先日、行われました第45回日本理学療法士協会学会大会におきまして、本学会も自由枠セミナーにて講演会を行いました。

講演内容

今回の講演では、腰椎の機能解剖から評価・病態を推測し必要な治療を行っていく必要性を説明しました。特に、徒手療法の手技が適応でない病態を例に挙げました。徒手療法が適切でない病態をはっきり言えることは、逆に言えば、徒手療法が適応である病態が理解できている証拠です。更に、姿勢指導における最新の根拠も説明しました。

内容

1. Paris 博士の紹介
2. 腰椎の機能解剖
3. 機能解剖と検査所見の関連(座位姿勢で腰痛があるときに最も予想できる病態)
4. 必要な治療(椎間板変性を改善させる姿勢 - 最新の根拠)
5. 検査手技, 治療手技のデモンストレーション

時間帯も遅い中、150名を超える方が熱心にご参加くださいました。

また若手の理学療法士かた、今回の講義を聞いてこれまでの徒手療法についての疑問が解けたという感想も頂きました。

今後も機会があれば是非開催したいと思います。



(講演会の様子)



会長

佐藤友紀

根拠とその問題 ～臨床予測基準について～

はじめに

近年、徒手療法を含めた理学療法の世界でも臨床予測基準という言葉聞く。臨床予測基準は、もともとは医学において病気の診断、予後、治療方法を決定するために考案された。例えば、冠動脈疾患罹患後、4年以内に亡くなりやすい患者はどのような人か、麻酔後に吐き気を訴えやすいのはどのような患者か、などである。徒手療法に身近な整形疾患であれば、膝関節に外傷を受けた患者894名に単純X線撮影をおこない、約93%は骨折が見られなかったという報告もある。これは必要以上に単純X線撮影が処方されている現われかもしれない。このようなことから単純X線撮影の必要性がある患者は誰なのか、どのような患者が来た場合、骨折の疑いから単純X線撮影をおこなう必要があるのか、を判断するために臨床予測基準が考案されている。

今回、徒手療法に関連した臨床予測基準についての研究を含め、臨床予測基準についての研究を紹介する。臨床予測基準の問題点についても挙げ、臨床予測基準の是非について論議したい。

また、根拠を重視することが重視されてきたわけであるが、このような論文を根拠として重視するため受け入れて良いのか論議したい。

* 詳細につきましては会員用のニュースレターをご参照ください。

研修会アナウンス

平成22年6月19、20日、7月3、4日 脊柱の評価と治療の基礎(S1)

開催地:岡山県 公立備前病院

受講料: 50,000円 会員 47,500円

平成22年7月17-19日 筋・筋膜の評価と治療(MF1)

開催地:東京都立川市 関東リハビリテーション専門学校

受講料: 68000円 会員 64600円

平成22年8月29日(日) 1日講習会

内容:脊柱不安定性 -腰椎不安定性 その理論と実際-

講師:佐藤 友紀(St.Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

公森 隆夫(公立備前病院)

開催地:大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

時間:10:00～16:00

受講料:会員 7000円 非会員 8000円

平成22年 9月 11,12日 Wanda 先生の講演会(東京, 大阪)

11日(土) 臨床福祉専門学校 東京 10時~16時

受講料 会員 9000円 非会員 10,000円

12日(日) 大阪医療福祉専門学校 大阪 10時~16時

受講料 会員 9000円 非会員 10,000円

平成22年 9月 17-20日 四肢の評価と治療(E1)

開催地: 鹿児島医療福祉専門学校

受講料: 78000円 会員 74100円

平成22年 12月 18日(土) S3 入門編

内容: S3(頚椎の評価と治療)講習会の入門・頚椎の解剖(腰椎との違いを中心に)

日時: 2010年 12月 18日(土) 14:30~18:30

開催地: 大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師: 佐藤 友紀(St. Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

参加費: 会員 5000円 非会員 6000円

平成23年 1月 22, 23日、2月 5, 6日、2月 12, 13日 S1 講習会

開催地: 大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師: 佐藤 友紀(St. Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

増井 健二(大阪回生病院)

受講料: 会員 50350円 非会員 53000円

平成 23 年度予定

平成23年 5月 3, 4, 5日 S2 講習会 予定

開催地: 大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師: Larry Yack(St. Augustine 大学 S2 インストラクター)

平成23年 8月 27, 28日、9月 3, 4日 S3 講習会

開催地: 大阪府 大阪回生病院 リハビリテーションセンター

講師: 佐藤 友紀(St. Augustine 大学 S1・S3 インストラクター)

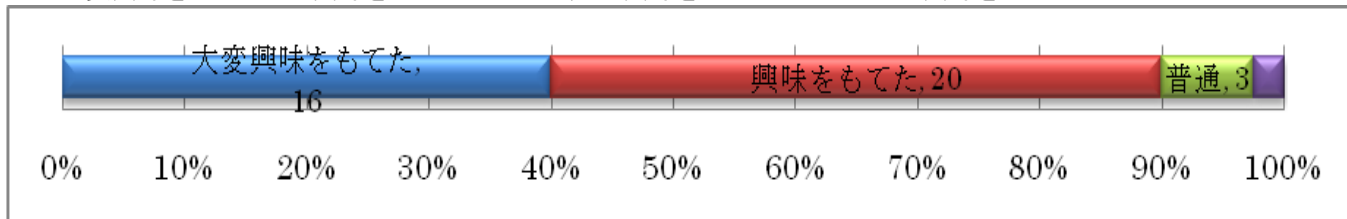
研修会の報告

受講生の皆様にはアンケートにご協力いただきまして厚くお礼申し上げます。今回は定期勉強会のアンケート結果をご報告させていただきました。今回は5月3日に行われた症例検討会(大阪)のアンケート結果の一部を報告します(詳細は本学会HP参照)。

また今回は、会員の皆様に公募し、会員の先生にご発表をいただきましたので、ご感想をいただきました。

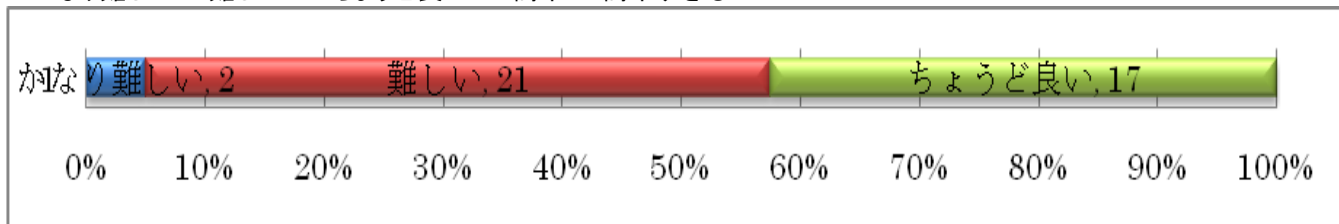
① 発表内容はいかがでしたか？

大変興味をもてた 16 興味をもてた 20 ふつう 3 興味をもてなかった 1 全く興味をもてなかった 0



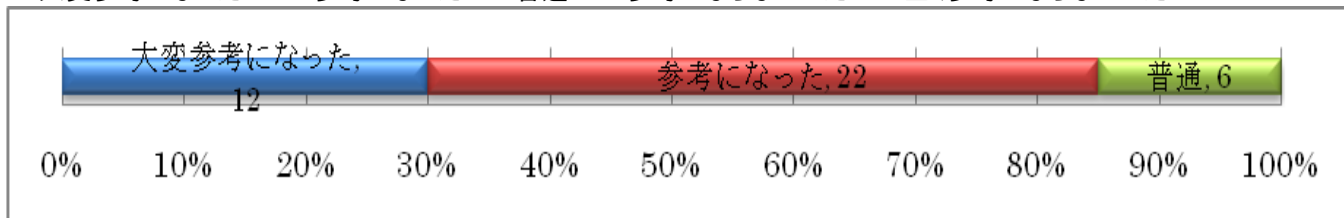
② 難易度はいかがでしたか？

かなり難しい 2 難しい 21 ちょうど良い 7 簡単 0 簡単すぎる 0



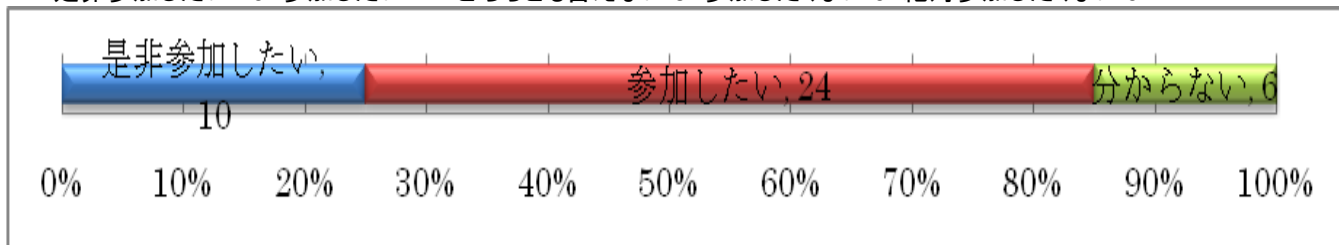
③ 参考になりましたか？

大変参考になった 12 参考になった 22 普通 6 参考にならなかった 0 全く参考にならなかった 0



④ 今後も症例検討会に参加したいと思いますか？

是非参加したい 10 参加したい 24 どちらとも言えない 6 参加したくない 0 絶対参加したくない 0



発表者より

西早稲田整形外科 松本 章司 先生



5月3日に症例検討会の発表をさせていただきました。Tony Varela先生や佐藤先生、増井先生、公森先生をはじめ、参加していただいた数多くの先生方に心より感謝いたします。あの場で様々な聞かせていただいた意見を基に、その後、症例とした患者様の治療を行っています。自分一人では見えていなかったことを行っていく中で新たな発見があり、私自身もですが、患者様ご本人もより強い勇気が湧いて治療を進められています。

今回の症例検討会は事前に発表者を募集するというインフォメーションがありましたが、私はその知らせを受けて真っ先に一人の患者様の姿が思い浮かびました。アプローチに難渋している患者様だったのですが、率直に「他の先生方はどう考えるだろう?」「自分のやり方は合っているだろうか?」「確認したい!」と思いました。

実際に発表することが決まってからですが、資料を作成していく過程で自分がいかに抜けている・忘れていた部分が多いかをまず気付かされました。私はS1~4、E1、2、MF1と講習会を受けて、日々の臨床でも生かしていたつもりでいましたが、改めてテキストを細かく見直していく中で、「部分的にしか覚えていなかったなあ」「浅かったなあ」などと反省しつつも、とても良い復習になりました。

また、まとめていく中で、自分がやってきたことの「こういうところは合っている」「こういうところはこんな風にした方がいい」と自分の中での確認作業ができました。

そして発表本番。あらゆる先生方から色々な意見をいただくことで、自分が気付かなかったことや知らなかったことを教えていただいたことも非常に有意義でしたが、一番の収穫は、かつて講習会で習い、それを基に実際に臨床で行ってきた自分の治療は果たしてどんなものなのか?正しく行えているのか?それを実際に教えていただいた先生や共有した先生方に見ていただいて客観的に確認していただくことができた、ということだったかと思います。自信を持てた部分、まだまだ頑張らなければならないと思った部分、そこが明確になったと思っています。また、習った内容からさらに一回り拡大した奥深いところを聞くこともできました。感覚としては、講習会で習っているうちは他人のテキストだったけれど、発表が終わった後に自分のテキストに変えることができたというような感じかなあ?とも思えました。

振り返ってみますと、やはり自分にとっても、患者様にとっても、この発表はやって良かったと素直に思いますし、選んでいただけた自分はラッキーでした。今後益々頑張っていこうと思いますし、他の先生方にもこのようなチャンスが巡ってくるよう、回を重ねていただけたといいな、と思っています。本当にありがとうございました。

西早稲田整形外科 松本 章司

前回の定期勉強会に続きまして、今回の症例検討会もほぼ全員の方が興味をもった、参考になった、次回も参加したいという有難い声をいただきました。

今後とも研修会を始め、症例検討会等も定期的を開催していただきますので皆様の本学会の研修会・症例検討会への積極的なご参加を心よりお待ちしております。

広報委員

日本徒手療法学会

スタッフ

会長	佐藤友紀
副会長	増井健二
事務局	山田一貫 浦慎太郎
教育研修委員会	橋場貴史 西村直樹
ガイドライン検討担当委員会	生田伸二
学術検討委員会	公森隆夫
広報委員会	内田 武

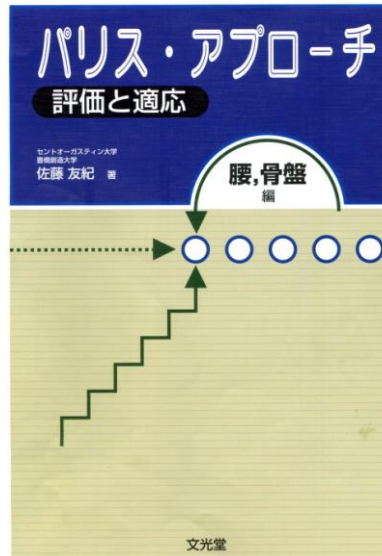
事務局

大阪回生病院
リハビリテーションセンター内
〒532-0003
大阪市淀川区宮原 1-6-10
TEL : 06-6393-8264

Web サイト

URL: <http://jsmt.jimdo.com/>

書籍紹介



書籍の内容の特徴:

解剖を中心として病態を考えるため、徒手療法の治療手技に固執せず、運動・姿勢指導などの重要性を認識できます。多くの治療法を組みあわせることで徒手療法を効果的にする考えで書かれています。これまで”徒手療法をすれば治る”という誤解を、”徒手療法を治療に組みあわせることで治る患者もいる。長期管理が必要となる患者もいる。徒手療法を組みあわせて患者に接することで予防する”といった総合的な治療を再認識させる書籍であります

今後、続編を出版予定です。

新規入会手続きについて

入会をご希望の方は、下記の手順に沿って手続きを御願いたします。

入会希望者手続き

- ① ホームページ(<http://jsmt.jimdo.com/>) 上より Excel のダウンロード
- ② Excel に必要事項入力
- ③ 年会費(3,000 円) 振込
ゆうちょ銀行 記号 14020 番号 30477041
日本徒手療法学会
他金融機関からの振込み受け取り口座
【店名】 四〇八(読み ヨンゼロハチ)
【店番】 408 【預金種目】普通預金
【口座番号】3047704
日本徒手療法学会
- ④ 事務局へメール送信(※入力済みの Excel を必ず添付)
jsmt@kaisei-hp.co.jp

日本徒手療法学会

事務局 大阪回生病院 リハビリテーションセンター内
〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1 丁目 6-10
TEL 06-6393-8264 FAX 06-6393-3509
E-mail jsmt@kaisei-hp.co.jp